

総合的な調査段階の P I における周知広報及び情報提供・意見収集手法について

総合的な調査では、調査段階 P I 実施計画に基づき、様々な手法を用いて周知広報及び情報提供を実施した。

各ステップの P I 開始前には、前ステップに実施した各手法について検証を行い、より効果の高かった手法については、箇所や回数を増やすなど、重点的に実施してきたところである。

調査段階 P I における主な活動内容及び実施状況は、以下のとおりです。

1. 調査段階 P I における活動内容

周知 広報	ラジオ・テレビの 行政番組	各ステップにおいて、P I 開始前だけでなく P I 実施期間中においても、できる限りラジオ・テレビの行政番組を活用し、周知広報を行った。
	テレビ CM・ 県議会棟前 電光掲示板	ステップ 2 では、より多くの方々に関心を持っていただけるようテレビ CM・県議会棟前電光掲示板を活用し、周知広報を行った。 しかし、費用に見合った効果は得られなかったことから、ステップ 3 ではテレビ CM 等の実施は見送り、地域住民等への説明会の頻度を増やしたり、オープンハウス等を全県的に実施するなど、他の取り組みを強化した。
	行政広報誌	総合的な調査では、国や県、市町村等の定期的に発行される広報誌に記事を掲載し、周知広報を行った。 行政広報誌への掲載は、市町村の協力を得て、段階を経るごとに増やしていった。(ステップ 1 では 5 誌、ステップ 2 では 16 誌、ステップ 3 では 23 誌)
情報 提供・ 意見 収集	インターネット等	各ステップにおいて、テレビの行政番組やインターネットを活用して情報提供を行った。また、ステップ 2 からはより多くの方々に調査結果を理解していただけるよう、情報提供用 DVD を作成し、各種説明会、オープンハウス等において、情報提供を行った。
	オープンハウス・ 説明会等	各ステップにおいて実施。特に、ステップ 3 では、女性や幅広い職業層、年齢層の方々の参加を促すため、行政施設だけでなく、商業施設等でもオープンハウス等を全県的に実施した。 また、ステップ 3 では、個別団体等に対しても、出向いて説明会を実施するなど積極的に情報提供に努めた。
	報告書配布・設置	ステップ 3 では、国や県、市町村の公共施設だけでなく、コンビニ等にも協力を頂き、報告書を設置するなど積極的な情報提供に努めた。

2. 実施状況

(1) 周知・広報

手法	実施内容	ステップ1	ステップ2	ステップ3
行政広報誌への記事掲載	定期的に配布する広報誌に、PI活動を周知する記事を掲載した。	5誌 ①総合事務局：1誌 ②沖縄県：2誌 ③市町村：2誌	16誌 ①総合事務局：1誌 ②沖縄県：2誌 ③市町村：13誌	23誌 ①総合事務局：1誌 ②沖縄県：2誌 ③市町村：20誌
新聞への記事掲載	県内の主要紙に、PI開始を周知する記事を掲載した。	開始前1回 実施中3回	開始前1回 実施中1回	開始前1回 実施中3回
空港、公共施設等でのポスター掲示	空港、市町村の公共施設等で、PIを周知するためのポスターを掲示した。	1,049枚掲示	1,000枚掲示	1,500枚掲示
ホームページへの情報掲載	那覇空港調査連絡調整会議（県、沖縄総合事務局、大阪航空局）のホームページで、PI開始を公表するとともに、ステップ1～3の「那覇空港の調査報告書」及び「調査報告書概要版」をPI活動終了時まで継続して掲載。	PI期間中	PI期間中	PI期間中
PI開始式の実施	国、県、市の参加によるPI開始式を開催し、PI開始の周知を行った。	1回	1回	1回
テレビCMの放映	PIを周知するためのCMを県内民放3局で放映した。		40回 ／1ヶ月間	
エアポートビジョンでのCM放映	PIを周知するためのCMを那覇空港ウェルカムホールのエアポートビジョンで放映した。		PI期間中	
県政テレビ番組の活用	県政テレビ番組「うまんちゅひろば」を通じて、PIの周知を行った。	民放3局 各1回	民放3局 各1回	民放3局 各1回
行政ラジオ番組の活用	行政ラジオ番組「ラジオ県民室」、「那覇市民の時間」、「FMたまん」、「FM沖縄」を通じて、PIの周知を行った。	1回 (2.5時間) FM沖縄ハッピー7 イランド	7回	54回
電光掲示板の活用	電光掲示板（県議会棟前）を通じて、PIの周知を行った。		PI期間中	
県政広報テレビ（県庁1階）での広報	県政テレビ番組のビデオを放映	5日間		
各種大会、会議等での呼びかけ	県内で開催された各種大会等で、直接的にPIの周知を行った。			9回 ①各種大会等 (5回) ②自治会長会 (4回)

(2) 情報提供・意見収集

手法	実施内容	ステップ1	ステップ2	ステップ3
調査報告書の配布	総合的な調査の結果等の要点をとりまとめた報告書を作成し、行政の情報窓口、空港等で配付した。 ①国、県、市町村の公共施設 ②各種団体 ③県内空港、モノレール駅等 ④オープンハウス等PI会場	5,550部配布 ①3,577部 ②497部 ③210部 ④1,266部	5,710部配布 ①1,926部 ②999部 ③1,410部 ④1,375部	16,139部配布 ①4,394部 ②2,510部 ③2,650部 ④6,585部
調査報告書(概要版)の配布	総合的な調査の結果等を分かりやすくとりまとめた報告書(概要版)を作成し、行政の情報窓口、空港等で配付した。 ①国、県、市町村の公共施設 ②各種団体 ③県内空港、モノレール駅等 ④オープンハウス等のPI会場 ⑤各種大会・イベント	26,462部配布 ①13,575部 ②1,637部 ③786部 ④9,864部 ⑤600部	21,473部配布 ①11,035部 ②3,157部 ③5,200部 ④2,081部 ⑤-	77,235部配布 ①18,824部 ②18,729部 ③11,388部 ④23,294部 ⑤5,000部
オープンハウス	県民が気軽に訪れることの出来る場所で一定期間パネル等を用いて情報提供し、意見収集や意見交換を行った。	6か所 (延べ35日) ①PI開始式場 ②沖縄県庁 ③那覇市役所 ④豊見城市役所 ⑤那覇空港 ⑥糸満市役所	6か所 (延べ46日) ①沖縄県庁 ②那覇市役所 ③豊見城市役所 ④那覇空港 ⑤糸満市役所 ⑥那覇祭り	26か所(延べ172日) ①沖縄県庁 ②那覇空港 ウェルカムホール ③八重瀬町役場 ④ていりる ⑤浦添市役所 ⑥与那原町役場 ⑦糸満市役所 ⑧豊見城市役所 ⑨名護市役所 ⑩北谷町役場 ⑪南城市役所 ⑫うるま市役所 ⑬嘉手納町役場 ⑭金武町役場 ⑮那覇市役所 ⑯宜野湾市役所 ⑰県立図書館 ⑱トランジットモール(ハレット久茂地) ⑲トランジットモール(テンプス館) ⑳プラザハウス 21 ジャスコ那覇 22 ジャスコ具志川 23 ジャスコ名護 24 ジャスコ北谷 25 ジャスコ南風原 26 産業まつり

手法	実施内容	ステップ1	ステップ2	ステップ3
パネル展示	県民が気軽に訪れることの出来る場所で一定期間パネル等を用いて情報提供を行った。	4 か所 (延べ 72 日) ①那覇空港 ②パレット市民劇場 ③石垣市役所 ④宮古空港	3 か所 (延べ 103 日) ①那覇空港 ②石垣市役所 ③宮古空港	10 か所 (延べ 165 日) ①那覇空港 ②南風原町役場 ③西原町役場 ④石垣市役所 ⑤宮古空港 ⑥モノレール県庁前駅 ⑦モノレール古島駅 ⑧モノレールおもろまち駅 ⑨モノレール首里駅 ⑩モノレール小禄駅
シンポジウム	総合的な調査の内容等について、基調講演や数名のパネリストとの対話を通じて情報提供を行った。		1 回	1 回
説明会	総合的な調査の結果等を、県民、地域住民、企業、団体に対して説明した。	7 回 一般県民 ①パレット市民劇場 (2 回) ②自治会館 周辺住民 ③産業支援センター ④那覇市小禄支所 関連事業者 ⑤空港ビル内会議室 大学生 ⑥空港ビル内会議室	5 回 一般県民 ①おきでん屋 ②おきでん夜 ③沖縄市民会館 大学生 ④琉球大学 ⑤沖縄国際大学	8 回 一般県民 ①おきでん ②糸満市農村環境改善センター ③豊見城市立中央公民館 ④沖縄市民会館 ⑤沖縄県立郷土劇場 ⑥北部合同庁舎 大 学 生 ⑦琉球大学 ⑧沖縄国際大学 県職員 ⑨県庁講堂
懇談会	総合的な調査の結果等について、各種団体との意見交換を行った。		3 回 ①空港関係者 ②経済団体 ③観光団体	28 回 ①空港関係者 (2 回) ②経済・観光団体 (23 回) ③地域住民 (3 回)
空港見学会	空の日の空港見学イベントを通じて、パネル等を用いた情報提供を行った。	1 回	1 回	1 回
ホームページへの情報掲載	ホームページにおいて、調査報告書等の総合的な調査に関する情報を提供した。	PI 期間中	PI 期間中	PI 期間中

手法	実施内容	ステップ1	ステップ2	ステップ3
意見募集	県内外の方からの意見を受け付けるため、複数メディアによる受付体制を整えた。 ・郵送、FAX ・インターネット（ホームページ、メール） ・オープンハウス、説明会等	PI 期間中	PI 期間中	PI 期間中
県政広報テレビ（県庁1階）での広報	県政広報テレビ（県庁1階）を通じて、総合的な調査の結果等を分かりやすくまとめたDVDを終日放送した。	20日間	12日間	
ラジオの公開放送での情報提供	FM沖縄の番組（ハッピーアイランド）を通じて、総合的な調査に関する情報を提供。	1回 (2.5時間)		